

電動ポンプで水やりマシンを作ろう！

乾電池式の電動ポンプに、外部スイッチを接続できるようにすると、植物の水やりマシンに転用することができます。「じょうろを持って水やりはできない」を「スイッチを押して水やりができる」に変えてみよう！

1 材料

- (1) 電動灯油ポンプ (例 工進手動乾電池式ポンプ EP105…ダイソーの 500 円商品、Amazon で購入できます)
- (2) 3.5 mmモノラルミニジャック (例 MJ-355…電子パーツ屋さんやネット販売で購入できます)
- (3) じょうろの先っぽ (ホームセンターなどで購入できます)

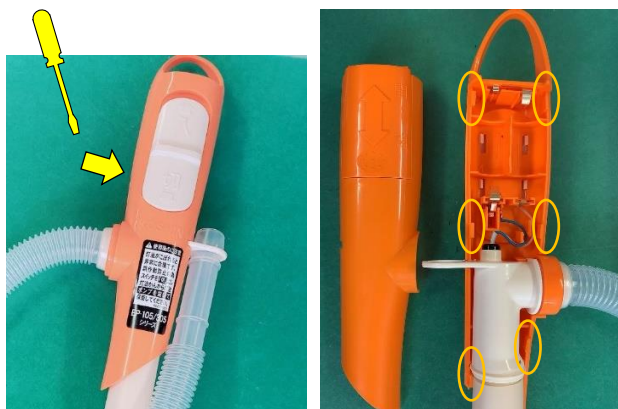


2 道具

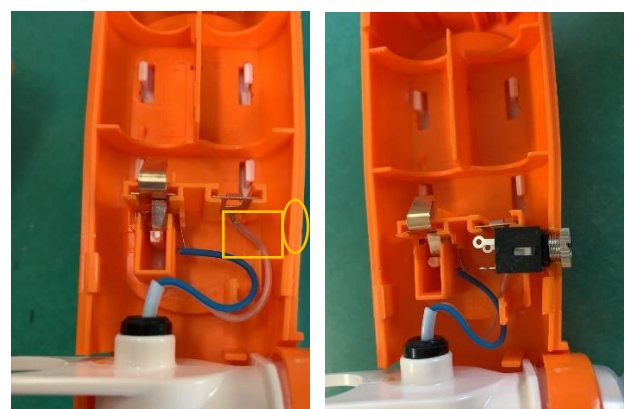
- (1) マイナスドライバーなど…ポンプをこじ開けるのに使います
- (2) ニッパー、はさみなど…配線を切るのに使います
- (3) ハンダゴテ、ハンダ…モノラルミニジャックのハンダ付けに使います
- (4) ドリル (工作用カッター、ニッパー) など…モノラルミニジャックの取り付け穴を開けるのに使います

3 作り方

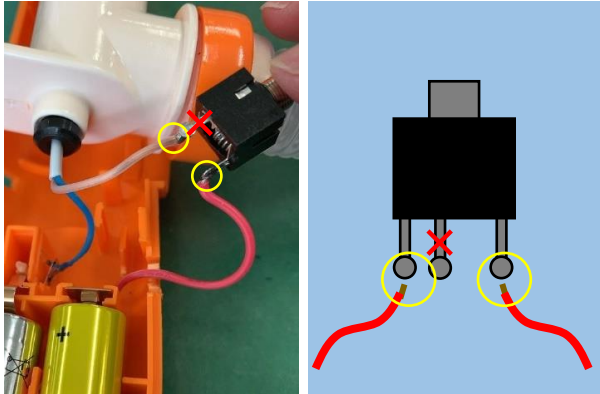
(1) マイナスドライバーなどをポンプの隙間に差し込み、ツメ(6か所)を外して、開ける。



(2) ミニジャックが入るスペースを見つけ、取り付け用の穴(6~7mm)を開ける。



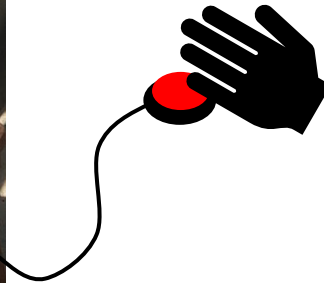
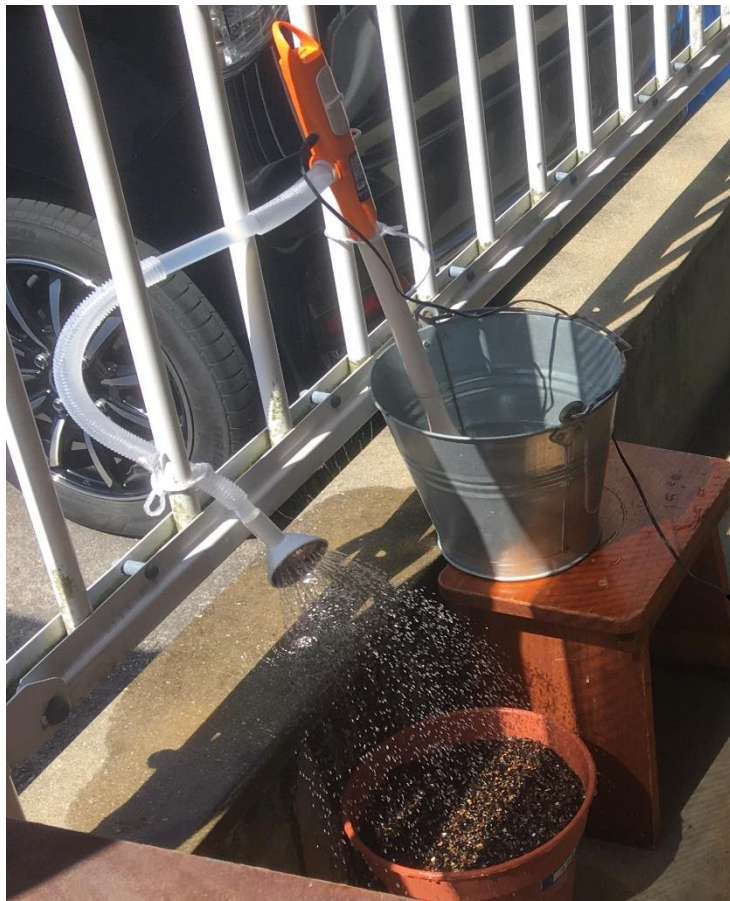
(3) 赤い線を途中で切り、被膜を向いて間にミニジャックをハンダ付けします(2か所)。



(4) ケースを閉じたら完成★



(5) ホースの先をじょうろの先っぽに差し込み、ポンプのスイッチを「入」にして、ミニジャックに接続したスイッチを押すと、水が出てきます♪



ポンプ本体は防水ではないので、使用後は雨に濡れないところに置いておきましょう。

※改造が不安な方、苦手な方は、ミニジャックの代わりに「BD アダプター」を電池ボックスに挟んで使う方法もあります。また、「MaBee」を使う方法もあります。



BD アダプター (エスコアール)



MaBee (ノバルス)